渋谷近現代研究会公開シンポジウム

松濤と代官山の暮らしを探る

戦前期渋谷の住宅開発と生活空間

参加費 **無料**

広尾小学校屋上より渋谷町北方を望む
（高旨菊蔵編『東京府渋谷町職員記念写真帖』1932年）

日時 12月10日（日） 13時～17時30分
（開場12時30分）

会場 ヒルサイドプラザ
（渋谷区猿楽町29-10 代官山ヒルサイドテラス）

定員 対面150名（定員に達し次第、申込締切）
オンラインは無制限
【申込者限定で当日の模様を後日、オンラインにて配信します。オンラインのみの登録も可能です】

渋谷松濤鍋島邸　公益財団法人鍋島報效会所蔵

鍋島家12代当主・侯爵鍋島直映
公益財団法人鍋島報效会所蔵

1万分の1地形図「世田谷」
大正5年修正測図

共託社　朝倉不動産株式会社所蔵

東京、日本を代表するまち、渋谷。そんな渋谷は今から百年前、なんと「住みよいまち」として知られていました。

このシンポジウムでは、元佐賀藩主で渋谷・松濤に暮らした侯爵鍋島家、代官山ヒルサイドテラスのオーナーとして知られる朝倉家から再発見・新発見された歴史資料をもとに、「住みよいまち」渋谷がどのように形成されたかを探ります。

朝倉虎治郎
朝倉不動産株式会社所蔵

朝倉八郎
朝倉不動産株式会社所蔵

申し込み方法

参加お申し込みは右記QRコードよりお願いします。

11月10日より受け付け開始

問い合わせ先

渋谷近現代研究会事務局　shibuyakingendai@gmail.com
協力　クラブヒルサイド　TEL：03-5489-1267

主催　渋谷近現代研究会（科学研究費助成事業　基盤研究B「戦前期東京における住宅開発と生活空間の変容―東京府渋谷区を事例に―」）
共催　國學院大學研究開発推進センター
後援　渋谷区・佐賀大学地域学歴史文化研究センター　**協力**　朝倉不動産株式会社

渋谷近現代研究会公開シンポジウム

松濤と代官山の暮らしを探る

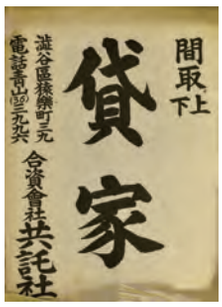
戦前期渋谷の住宅開発と生活空間

多くの人が集うスクランブル交差点を擁し、今では東京、日本を代表するまちの一つとして知られる渋谷。そんな渋谷は今から百年前、なんと「住みよいまち」として知られ、全国でも最大規模の人口を有した町でもありました。

このシンポジウムでは、元佐賀藩主で渋谷に暮らし、その名を「鍋島松濤公園」に残す侯爵鍋島家、代官山ヒルサイドテラスのオーナー家として知られる朝倉家から再発見・新発見された歴史史料を活用しながら、松濤地域と代官山地域から「住みよいまち」渋谷がどのように形成されたかを探ります。

シンポジウム登壇者

共託社パンフレット
朝倉不動産株式会社所蔵



貸家札
朝倉不動産株式会社所蔵

鍋島松濤公園

講　演

田原光泰（白根記念渋谷区郷土博物館・文学館学芸員）
「鍋島侯爵家の渋谷開発」

内山京子（國學院大學栃木短期大学准教授）
「鍋島侯爵家の生活空間と家政構造」

青木歳幸（佐賀大学特命教授）
「鍋島家と肥前協会名簿の周辺」

手塚雄太（國學院大學准教授）
「戦前期渋谷の宅地開発と共託社」

根岸茂夫（國學院大學名誉教授）
「戦時期における渋谷の借家層と住宅環境」

高久　舞（帝京大学講師）
「西郷山公園域の生活文化」

コメンテーター

上山和雄（國學院大學名誉教授）
伊藤　毅（東京大学名誉教授・青山学院大学客員教授）

司　会

宮本誉士（國學院大學教授）
富田紘次（公益財団法人鍋島報效会事務局長）

鍋島家11代当主・侯爵鍋島直大
公益財団法人鍋島報效会所蔵

梨本宮伊都子妃
公益財団法人鍋島報效会所蔵

申し込み方法

参加お申し込みは右記
QRコードよりお願いします。
11月10日より受け付け開始

問い合わせ先

渋谷近現代研究会事務局
shibuyakingendai@gmail.com
協力　クラブヒルサイド
TEL：03-5489-1267

参加費
無料

主催　渋谷近現代研究会（科学研究費助成事業　基盤研究B「戦前期東京における住宅開発と生活空間の変容―東京府渋谷区を事例に―」）
共催　國學院大學研究開発推進センター
後援　渋谷区・佐賀大学地域学歴史文化研究センター
協力　朝倉不動産株式会社
定員　対面150名（定員に達し次第、申し込みを締め切ります）、オンラインは無制限。
【申込者限定で当日の模様を後日、オンラインにて配信します。オンラインのみの登録も可能です】